単元シート「あなたなら、どう言う」

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ①言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。（(1)ア）  ②考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） | ①「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。（Ａ(1)オ）  ②「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。（Ａ(1)エ） | ①学習課題に沿って、様々な立場でやり取りを行い、互いの意見の共通点や相違点に着目して積極的に考えをまとめようとしている。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動 | 「おおむね満足できる」状況（Ｂ） | 「努力を要する」状況（Ｃ）への手立て |
| １ | 単元の課題を確認し、姉の立場に立って考える活動を通して、学習の見通しをもつ。 | 教科書の挿絵をもとに、どんな場面の対話について考えるのかを話し合い、対話の仕方を考えようとしている。（主①） | これまでの学習を想起させたり、それぞれの立場を考えたりするよう声を掛ける。 |
|  |  |  |
| ２ | グループで、それぞれの立場に立って思いを伝えたり、よりよい言い方について話し合ったりする。 | それぞれの立場や思いに合わせた言葉を使ってやり取りをしている。（知①②） | 姉や弟の立場や思いを伝え、それをどう伝えるか一緒に考える。 |
|  |  |
|  |
| それぞれの立場に立って思いを伝えたり、互いの発言の中心を捉え聞いたりしながら、よりよい言い方について考えている。（思①②） | けんかにならない言い方や相手が嫌な気持ちにならない言い方を考えるよう助言する。 |
|  |  |
| ３ | 単元全体を振り返る活動を通して、よりよい言い方や対話をするときに大切なことを理解する。 | 言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあること、立場によって思いや考えに違いがあることに気付いている。（知①②） | 前時の学習を振り返り、姉と弟のそれぞれの思いや言い分を想像してから考えるよう声を掛ける。 |
|  |  |
|  |
| 互いの意見の共通点や相違点に着目して、よりよい対話について考え、まとめている。（思①②） | 前時の学習を振り返り、姉と弟のそれぞれの思いや言い分を想像してから考えるよう声を掛ける。 |
|  |  |
| 学んだことをどのように生かしていくか考えている。（主①） | 普段の生活での友達や家族とのやり取りを想起するよう声を掛ける。 |
|  |  |